



茨木市では、2050年ゼロカーボンシティの実現に向け、市民・事業者等の各主体による脱炭素の取組を後押しすることを目的として、令和7年度以降に「脱炭素プラットフォーム」の構築を予定しています。脱炭素化の取組は、地球環境を守るだけでなく、私たちの暮らしの質を向上させることにもつながります。ともに持続可能な社会の実現をめざしましょう！

第1回脱炭素プラットフォーム構築に向けたワークショップを開催しました

プラットフォームの構築に向けて、2024年12月17日に第1回のワークショップおよび意見交換会を開催しました。本会では、茨木市の計画について簡単にご説明したあと、意見交換を通して脱炭素の取組に必要な視点や解決すべき課題の共有を行うとともに、プラットフォームへの参画や脱炭素の取組実施のきっかけづくりとして、参加者間の相互理解を図りました。

製造業やサービス業、エネルギー業など様々な業種の方に参加していただき、12事業者14名で実施しました。

気候変動のミステリー

ワークショップでは「茨木市気候変動のミステリー」と題して、様々な事象が書かれたカードを並べて、気候変動との関係性を可視化していきました。「熱中症」や「農作物への影響」、「ハザードマップ」など想像を膨らませるカードがありました。

意見交換

「地域で地球温暖化対策や脱炭素化を進めていくにあたって必要なこと、取り組めること」をテーマに意見交換を行いました。

挙げた意見の一例

- エコ活動が生活に窮屈感を与えないように、利便性とのバランスを考慮する
- 自分の行動が未来に良い影響を与えることを実感できるように、ポジティブなメッセージを伝えていくことが大切
- 地域の人々が納得できる形で進めること など

感想

- 漠然とした環境問題がぐっと身近になった気がします
- 多様な見方、考え方があり参考になった
- 他社様の取組や考えが少しわかり、よかったです
- 各企業が抱えている課題を話し合う機会があると良いなと思います など



第2回 ワークショップ

実施後のアンケートでは、第1回ワークショップの満足度は100%でした（満足した、やや満足したの回答率）。2月には脱炭素プラットフォーム構築に向けた第2回のワークショップを予定しています。